



2021年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社

コード番号 8113 URL <https://www.unicharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理財務本部長 (氏名) 島田 弘達

TEL 03-3451-5111

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		コア営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	182,015	△1.0	31,353	3.5	34,220	22.6	23,078	8.7	20,104	4.6	44,543	—
2020年12月期第1四半期	183,788	9.0	30,281	50.7	27,910	33.3	21,228	41.8	19,215	51.3	△3,370	—

（注）コア営業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	33.56	33.53
2020年12月期第1四半期	32.19	32.12

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	919,435	596,622	522,012	56.8
2020年12月期	893,413	562,653	493,002	55.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	18.00	—	18.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		コア営業利益		税引前当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	770,000	5.8	119,000	3.7	117,000	22.1	75,000	43.3	125.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	620,834,319株	2020年12月期	620,834,319株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	21,658,666株	2020年12月期	21,742,676株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	599,132,571株	2020年12月期1Q	596,838,546株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当社が公表するコア営業利益はIFRSで定義されている指標ではありませんが、当社グループの経常的な事業業績を測る指標として有用な情報であると考えられるため、開示しております。

(2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
1. 継続企業の前提に関する注記	13
2. 重要な会計方針	13
3. セグメント情報	13
4. 販売費及び一般管理費	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年3月31日）における当社グループをとりまく経営環境は、海外におきましては、主要参入国である中国で新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）による景気の悪化から持ち直しています。一方、インドやインドネシアなどで景気が回復傾向にあります。依然として多くの参入国ではCOVID-19が消費行動に影響を及ぼす厳しい状況が続くなか、当社商品は生活必需品であることから安定供給に向けて取り組んでまいりました。

国内におきましては、COVID-19の再拡大の影響により景気は依然として厳しいものの、マスクやウェットティッシュなどの感染症対策商品やペット関連商品の需要が安定的に推移するなか、高付加価値商品の需要を喚起するための新価値提案を実施し、市場シェアの拡大に努めてまいりました。

このような経営環境のなか、当社グループは、“世界中の全ての人々のために、快適と感動と喜びを与えるような、世界初・世界No.1の商品とサービスを提供しつづけます”の基本方針に基づき、独自の不織布加工・成形技術と消費者ニーズを捉えた商品の開発に努め、世界中の人々が平等で不自由なく、その人らしさを尊重し、やさしさを包み支え合う、心つながる豊かな社会である「共生社会」＝Social Inclusionの実現に向けて取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高182,015百万円（前年同四半期比1.0%減）、コア営業利益31,353百万円（前年同四半期比3.5%増）、税引前四半期利益34,220百万円（前年同四半期比22.6%増）、四半期利益23,078百万円（前年同四半期比8.7%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益20,104百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

① パーソナルケア

● ウェルネスケア関連商品

海外におきましては、日本以上のスピードで高齢化が進む中国をはじめ、タイ、インドネシア、ベトナムといったアジア地域でも、大人用排泄ケア用品の本格的な需要が見込まれることから、日本で確立したケアモデルの普及促進に向けて、新たに海外ブランドマネジメント部を組成し取り組んでまいりました。

高齢者人口の増加により拡大が続く国内市場におきましては、感染予防意識の高まりから外出が抑制されるなか、健康寿命の延伸に繋がる軽度・中度商品を中心に幅広い商品ラインアップの拡充により、安定的な成長を実現いたしました。

また、COVID-19発生後からの消費者の感染予防意識の向上に加え、安心・安全の面から日本メーカー製の需要の高まりに応じて、マスクの『超快適』、『超立体』両ブランドと、ウェットティッシュの『シルコット』ブランドの供給を強化し、市場シェアの拡大に努めました。また、学校法人北里研究所 北里大学医療衛生学部への委託研究により、『シルコット 消毒ウェット』、『ウイルス除去 ノロクリア ウェット』『99.99%除菌』の絞り液でCOVID-19を抑制することを実証[※]いたしました。

今後は日本だけではなく世界的にも同様に衛生意識や感染予防意識の高まりが見込まれることから、マスクやウェットティッシュの海外展開も視野に入れ、さらなる成長に向けて取り組んでまいります。

※ 実使用環境によるものではありません。

● フェミニンケア関連商品

中国におきましては、若年層から品質の高さとデザインのかわいらしさに対して引き続き高いご支持を頂いているなか、継続的な新価値提案を実施し、販売エリアや、取り扱い店舗数の拡大、eコマースチャネルの販売強化などに努めた結果、高い成長を実現いたしました。また、その他のアジア地域におきましても、安定的な成長を遂げました。

国内におきましては、健康意識と安心志向の高まりに応えた商品や、女性のライフスタイルに合わせた高付加価値商品などの展開で市場の活性化に努めました。一方、昨年のCOVID-19関連による特需の反動により、売上高が伸び悩みました。

● ベビーケア関連商品

COVID-19の影響で市場の二極化が進むタイやインドネシアにおきましては、2018年に買収したDSG (Cayman) Ltd.とのシナジーを活かし、幅広いお客様のニーズに応じてまいりました。新興国のなかでも紙おむつの普及率が未だ低いインドにおきましては、昨年のインド西部の工場火災により供給不足が発生したことから、近隣諸国からの輸入と既存工場の生産増強を進め、パンツ型紙おむつで普及促進を図りながら販売エリアと、市場シェアの回復に努めました。また、日本製需要の減退がみられる中国では、eコマースチャネルを中心に高付加価値商品である中国製

『ムーニー』ブランドの販売強化に努め、多様化する消費者ニーズに応えてまいりました。一方、政情不安が続く中東では、サウジアラビア国内販売に加え、サウジアラビアから近隣中東諸国への輸出が堅調に推移した結果、安定的な成長を実現いたしました。

国内におきましては、『ムーニー』『ナチュラル ムーニー』など高付加価値商品を含めた幅広い商品ラインアップで笑顔あふれる育児生活の実現に取り組み、ブランド価値の向上に努めました。一方、昨年のCOVID-19関連による特需の反動により、売上高が伸び悩みました。

この結果、パーソナルケアの売上高は157,754百万円（前年同四半期比1.8%減）、セグメント利益（コア営業利益）は27,837百万円（前年同四半期比2.2%増）となりました。

②ペットケア

国内では、昨年のCOVID-19の拡大で在宅時間が増えたことによる飼育頭数の増加に加え、ペットとの接触機会が増加しました。そのようななか、ペットフードにおきましては、犬用では犬種ごとの身体の特徴や年齢に合わせた商品や、猫用では健康志向の高まりに応えた商品などで、消費者の満足度向上に努めてまいりました。また、ペットトイレタリーにおきましても、犬用ペットシートや猫用システムトイレなどが堅調に推移し、安定した成長を実現いたしました。

北米市場におきましては、昨年COVID-19の影響で飼育頭数やペットとの接触機会が増加しペット市場が急拡大した反動、寒波の影響で物流の停滞や一部商品の販売が想定を下回ったこともあり、売上高は伸び悩みました。引き続き、日本の技術を搭載した犬用ペットシートや、これまで市場になかった新たなコンセプトの猫用ウェットタイプ副食などの販売を強化してまいります。また、さらなる成長に向け、近年台頭が著しいeコマースチャネルやペット専門店、米国特有のダラーストア（均一価格店）業態への取り組みを強化してまいります。

この結果、ペットケアの売上高は22,311百万円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益（コア営業利益）は3,327百万円（前年同四半期比15.5%増）となりました。

③その他

不織布・吸収体の加工・成形技術を活かした業務用商品分野におきまして、産業用資材を中心に販売を進めてまいりました。

この結果、その他の売上高は1,950百万円（前年同四半期比4.3%増）、セグメント利益（コア営業利益）は189百万円（前年同四半期比20.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は919,435百万円（前連結会計年度比2.9%増）となりました。主な増加は、現金及び現金同等物10,945百万円、有形固定資産6,608百万円、投資有価証券等のその他の金融資産5,983百万円によるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は322,813百万円（前連結会計年度比2.4%減）となりました。主な増加は、繰延税金負債3,786百万円、借入金3,463百万円、主な減少は、未払消費税等のその他の流動負債8,808百万円、未払法人所得税6,571百万円によるものです。

（資本）

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は596,622百万円（前連結会計年度比6.0%増）となりました。主な増加は、親会社の所有者に帰属する四半期利益20,104百万円、在外営業活動体の為替換算差額等のその他の資本の構成要素17,861百万円によるものです。

（親会社所有者帰属持分比率）

当第1四半期連結会計期間末における親会社所有者帰属持分比率は56.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は210,467百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,945百万円増加しております。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、22,364百万円の収入（前年同四半期は、44,250百万円の収入）となりました。主な収入は、税引前四半期利益、減価償却費及び償却費によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用したキャッシュ・フローは、6,720百万円の支出（前年同四半期は、12,797百万円の支出）となりました。主な支出は、有形固定資産及び無形資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用したキャッシュ・フローは、9,119百万円の支出（前年同四半期は、11,718百万円の支出）となりました。主な支出は、親会社の所有者への配当金支払額によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2021年2月15日発表と変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		199,522	210,467
売上債権及びその他の債権		112,698	108,174
棚卸資産		61,617	66,802
その他の金融資産		97,588	97,230
その他の流動資産		19,536	18,650
流動資産合計		490,962	501,323
非流動資産			
有形固定資産		258,814	265,422
無形資産		90,006	92,512
繰延税金資産		13,078	12,948
持分法で会計処理されている投資		1,262	1,556
その他の金融資産		37,372	43,713
その他の非流動資産		1,920	1,962
非流動資産合計		402,451	418,113
資産合計		893,413	919,435

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
仕入債務及びその他の債務		145,316	145,805
借入金		8,975	12,271
未払法人所得税		16,183	9,612
その他の金融負債		5,765	5,552
その他の流動負債		56,976	48,168
流動負債合計		233,215	221,408
非流動負債			
借入金		24,202	24,369
繰延税金負債		21,116	24,902
退職給付に係る負債		11,483	12,040
その他の金融負債		36,743	36,277
その他の非流動負債		4,001	3,818
非流動負債合計		97,545	101,405
負債合計		330,760	322,813
資本			
親会社の所有者に帰属する持分			
資本金		15,993	15,993
資本剰余金		13,208	13,624
利益剰余金		547,259	557,782
自己株式		△54,572	△54,362
その他の資本の構成要素		△28,886	△11,025
親会社の所有者に帰属する持分合計		493,002	522,012
非支配持分		69,651	74,610
資本合計		562,653	596,622
負債及び資本合計		893,413	919,435

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	3	183,788	182,015
売上原価		△111,444	△107,975
売上総利益		72,344	74,039
販売費及び一般管理費	4	△42,063	△42,686
その他の収益		447	1,858
その他の費用		△699	△595
金融収益		1,091	1,916
金融費用		△3,210	△312
税引前四半期利益		27,910	34,220
法人所得税費用		△6,682	△11,143
四半期利益		21,228	23,078
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		19,215	20,104
非支配持分		2,014	2,973
四半期利益		21,228	23,078
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益 (円)		32.19	33.56
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)		32.12	33.53

売上総利益からコア営業利益への調整表

(単位：百万円)

売上総利益	72,344	74,039
販売費及び一般管理費	△42,063	△42,686
コア営業利益 (※)	30,281	31,353

(※) コア営業利益は売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、IFRSで定義されている指標ではありませんが、当社の取締役会はコア営業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しており、当社グループの経常的な事業業績を測る指標として有用な情報であると考えられるため、要約四半期連結損益計算書及び注記「3. セグメント情報」に自主的に開示しております。

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期利益		21,228	23,078
その他の包括利益 (税引後)			
純損益に組み替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産の純変動		△1,215	188
退職給付に係る負債 (資産) の純額に係る再測定		△0	—
小計		△1,216	188
純損益に組み替えられる可能性のある項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融資産の純変動		—	1
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値変動		56	25
在外営業活動体の為替換算差額		△23,439	21,246
持分法によるその他の包括利益		—	6
小計		△23,383	21,278
その他の包括利益 (税引後) 合計額		△24,599	21,465
四半期包括利益合計額		△3,370	44,543
四半期包括利益合計額の帰属			
親会社の所有者		△1,292	38,001
非支配持分		△2,078	6,542
四半期包括利益合計額		△3,370	44,543

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	注記	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計		
2020年1月1日残高		15,993	14,960	513,066	△58,769	△12,177	473,073	69,827	542,900
四半期利益		—	—	19,215	—	—	19,215	2,014	21,228
その他の包括利益		—	—	—	—	△20,507	△20,507	△4,091	△24,599
四半期包括利益合計		—	—	19,215	—	△20,507	△1,292	△2,078	△3,370
自己株式の取得		—	—	—	△0	—	△0	—	△0
転換社債型新株予約権付社債の転換		—	243	—	2,627	△217	2,653	—	2,653
配当金		—	—	△8,347	—	—	△8,347	△489	△8,837
非支配持分との資本取引		—	△7	—	—	—	△7	98	90
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		—	—	8	—	△8	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	236	△8,339	2,627	△225	△5,701	△392	△6,093
2020年3月31日残高		15,993	15,196	523,942	△56,142	△32,909	466,079	67,358	533,437

当第1四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	注記	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
		資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計		
2021年1月1日残高		15,993	13,208	547,259	△54,572	△28,886	493,002	69,651	562,653
四半期利益		—	—	20,104	—	—	20,104	2,973	23,078
その他の包括利益		—	—	—	—	17,896	17,896	3,569	21,465
四半期包括利益合計		—	—	20,104	—	17,896	38,001	6,542	44,543
自己株式の取得		—	—	—	△0	—	△0	—	△0
自己株式の処分		—	64	—	211	△31	244	—	244
配当金		—	—	△9,585	—	—	△9,585	△1,631	△11,217
連結範囲の変動		—	—	—	—	—	—	48	48
株式報酬取引		—	351	—	—	—	351	—	351
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		—	—	4	—	△4	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	415	△9,581	211	△36	△8,991	△1,583	△10,574
2021年3月31日残高		15,993	13,624	557,782	△54,362	△11,025	522,012	74,610	596,622

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益		27,910	34,220
減価償却費及び償却費		9,280	9,205
受取利息及び受取配当金		△1,091	△863
支払利息		314	257
為替差損益 (△は益)		1,031	782
固定資産除売却損益 (△は益)		19	16
売上債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)		12,115	9,111
棚卸資産の増減額 (△は増加)		3,514	△2,586
仕入債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)		△7,077	△4,134
その他の流動負債の増減額 (△は減少)		966	△12,424
その他		771	△531
小計		47,753	33,054
利息及び配当金の受取額		1,070	926
利息の支払額		△341	△279
法人所得税の還付額		—	1,565
法人所得税の支払額		△4,231	△12,900
営業活動によるキャッシュ・フロー		44,250	22,364

(単位：百万円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出		△7,895	△15,703
定期預金の払戻による収入		4,132	22,675
有形固定資産及び無形資産の取得による支出		△7,789	△6,811
有形固定資産及び無形資産の売却による収入		747	7
償却原価で測定する金融資産の取得による支出		—	△2,013
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の取得による支出		△1,000	△2,000
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産の取得による支出		△3,001	△4,957
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の売却及び償還による収入		2,000	2,000
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産の売却及び償還による収入		6	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融資産の売却及び償還による収入		—	400
関係会社株式の取得による支出		—	△317
その他		4	0
投資活動によるキャッシュ・フロー		△12,797	△6,720
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額 (△は減少)		△1,255	2,797
長期借入金の返済による支出		△267	—
リース負債の返済による支出		△1,290	△1,162
自己株式の取得による支出		△0	△0
親会社の所有者への配当金支払額		△8,349	△9,595
非支配持分への配当金支払額		△556	△1,403
ストック・オプションの行使による収入		—	244
財務活動によるキャッシュ・フロー		△11,718	△9,119
現金及び現金同等物に係る換算差額		△3,935	4,420
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		15,800	10,945
現金及び現金同等物の期首残高		128,787	199,522
現金及び現金同等物の四半期末残高		144,588	210,467

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

3. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社グループの最高経営意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象として決定しております。

当社グループは、パーソナルケア、ペットケア、その他の3つの事業単位を基本に組織が構成されており、各事業単位で日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「パーソナルケア」「ペットケア」「その他」の3つを報告セグメントとしております。

「パーソナルケア」は、ウェルネスケア関連商品、フェミニンケア関連商品及びベビーケア関連商品等の製造・販売をしております。「ペットケア」は、ペットフード関連商品及びペットトイレタリー関連商品等の製造・販売をしております。「その他」は、産業用資材関連商品等の製造・販売をしております。

なお、報告セグメントの会計方針は要約四半期連結財務諸表と同一であります。また、セグメント利益はコア営業利益（売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益）であり、取締役会はコア営業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。

(2) 報告セグメントごとの売上高及び業績

報告セグメントごとの売上高及び業績は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)					
	報告セグメント				調整額	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	パーソナル ケア	ペットケア	その他	計		
外部顧客への売上高	160,599	21,320	1,868	183,788	—	183,788
セグメント間の売上高 (注)	—	—	13	13	△13	—
セグメント売上高合計	160,599	21,320	1,882	183,801	△13	183,788
セグメント利益 (コア営業利益)	27,243	2,881	157	30,281	—	30,281
その他の収益						447
その他の費用						△699
金融収益						1,091
金融費用						△3,210
税引前四半期利益						27,910

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)					
	報告セグメント				調整額	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	パーソナル ケア	ペットケア	その他	計		
外部顧客への売上高	157,754	22,311	1,950	182,015	—	182,015
セグメント間の売上高 (注)	—	—	5	5	△5	—
セグメント売上高合計	157,754	22,311	1,954	182,019	△5	182,015
セグメント利益 (コア営業利益)	27,837	3,327	189	31,353	—	31,353
その他の収益						1,858
その他の費用						△595
金融収益						1,916
金融費用						△312
税引前四半期利益						34,220

(注) セグメント間の売上高は、市場実勢価格を参考にしております。

4. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月 1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月 1日 至 2021年3月31日)
販売運賃諸掛	11,911	12,326
販売促進費	5,010	4,621
広告宣伝費	4,944	5,704
従業員給付費用	9,641	9,965
減価償却費及び償却費	2,683	2,738
研究開発費	1,857	1,784
その他	6,017	5,549
合計	42,063	42,686